

耐震化優先度調査結果一覧

学校名	建物区分	優先度指標P	優先度ランクSp
飛仁帯小学校	屋体	8	④
羅臼中学校	屋体	7	④
春松中学校	屋体	2	⑤
植別小中学校	屋体	2	⑤

(参考) 鉄骨造屋内運動場の優先度評価表

優先度指標Pの値	優先度ランクSp	
21~35	①	高 ↑ 低
16~20	②	
11~15	③	
6~10	④	
0~5	⑤	

■耐震化優先度調査総括表

学校名

飛仁帯小学校

分類	評価項目	評価ランク
鉄骨軸組筋かい 耐震性能	$ISB = \frac{0.25}{C_{yi} \times 1.3} \times \frac{1.0}{A_i F_{esi}} = (0.325)$	B
鉄骨腐食度	$F = 0.5 \times \left(\frac{0.6}{f_{軸組}} + \frac{\quad}{f_{柱脚}} \right) = (0.6)$	B
座屈状況	$N = \frac{0.8}{N_{局部}} \times \frac{1.0}{N_{全体}} = (0.8)$	A
溶接状況	$M = 1.0 = (1.0)$	A
構造安全性	(イ)	C
落下物等に係る 安全性	(無)	A
想定震度	(震度VI弱)	B
優先度指標P	$3 + 5 \times (1) = 8$ Bランク数 Cランク数	
優先度ランクSp	④	

※ のセルに入力

■優先度調査の各項目の概要

a)鉄骨軸組筋かい耐震性能 ISB

構造計算がない $C_{yi}=0.25$

鉄骨造平屋建 $A_i F_{esi}=1.0$

b)鉄骨腐食度 F

○割れ、ふくれ、はがれ

評点	塗膜の状況
1	表面積の30%以上の異常が認められる
2	表面積の5~30%の "
③	表面積の5%未満の "

○さび

評点	発錆の状況
1	全面に著しいさびが生じ、断面欠損が生じている
2	全面にかなりさびが進行しているか、局部的深い溝食が生じている
3	かなり大きな点さびが点在しているか、小さな点さびが全面にわたって存在している
4	小さい点さびが全面にわたって点在しているか、大きい点さびが少しある
⑤	発錆は殆ど認められない

○腐食度の区分

発錆の状況	塗膜の状況	腐食度の区分
⑤	③	無
5	2	仕上げ錆
5	1	部分錆
4	1, 2, 3	
3		
2	1, 2, 3	欠損錆
1		

c)座屈状況 N

局部座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微ではあるが、フランジまたはトラス(ラチス)の個材にそり曲がりなどの局部座屈の傾向が認められる
明確	明確に座屈していることが認められる
全体座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微な部材中心線の曲がりや梁の横たおれが認められる
明確	明確に座屈していることが認められる

d)溶接状況 M

異常なし	異常なし
変形	ガセットプレートの変形または溶接ビードの著しく不整形なものが認められる
破損	ガセットプレートや溶接部に亀裂等の欠陥が認められ、著しく耐力が低下している

e)構造安全性

イ 明らかに設計図書との食い違いあり(壁ブレースの一部)

f)落下物等に係る安全性

危険性ナシ

g)想定震度

震度VI弱

■耐震化優先度調査総括表

学校名

羅臼中学校

分類	評価項目	評価ランク
鉄骨軸組筋かい耐震性能	$ISB = \frac{0.25}{C_{yi} \times 1.3} \times \frac{1.0}{A_i F_{esi}} = (0.325)$	B
鉄骨腐食度	$F = 0.5 \times \left(\frac{0.6}{f_{軸組}} + \frac{0.6}{f_{柱脚}} \right) = (0.6)$	B
座屈状況	$N = \frac{0.6}{N_{局部}} \times \frac{0.8}{N_{全体}} = (0.48)$	C
溶接状況	M = (1.0)	A
構造安全性	(無)	A
落下物等に係る安全性	(無)	A
想定震度	(震度V強以下)	A
優先度指標P	$2 + 5 \times \left(\frac{1}{C_{ランク数}} \right) = 7$	
優先度ランクSp	④	

※ のセルに入力

■優先度調査の各項目の概要

a) 鉄骨軸組筋かい耐震性能 ISB

構造計算がない $C_{yi}=0.25$

鉄骨造平屋建 $A_i F_{esi}=1.0$

b) 鉄骨腐食度 F

○割れ、ふくれ、はがれ

評点	塗膜の状況
1	表面積の30%以上の異常が認められる
②	表面積の5~30%の //
3	表面積の5%未満の //

○さび

評点	発錆の状況
1	全面に著しいさびが生じ、断面欠損が生じている
2	全面にかなりさびが進行しているか、局部的深い溝食が生じている
③	かなり大きな点さびが点在しているか、小さな点さびが全面にわたって存在している
4	小さい点さびが全面にわたって点在しているか、大きい点さびが少しある
5	発錆は殆ど認められない

○腐食度の区分

発錆の状況	塗膜の状況	腐食度の区分
5	3	無
5	2	仕上げ錆
5	1	部分錆
4	1, ②, 3	
③		1, 2, 3
2	欠損錆	
1		

c) 座屈状況 N

局部座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微ではあるが、フランジまたはトラス(ラチス)の個材にそり曲がりなどの局部座屈の傾向が認められる
明確	明確に座屈していることが認められる
全体座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微な部材中心線の曲がりや梁の横だおれが認められる
明確	明確に座屈していることが認められる

d) 溶接状況 M

異常なし	異常なし
変形	ガセットプレートの変形または溶接ビードの著しく不整形なものが認められる
破損	ガセットプレートや溶接部に亀裂等の欠陥が認められ、著しく耐力が低下している

e) 構造安全性

危険性ナシ

f) 落下物等に係る安全性

危険性ナシ

g) 想定震度

震度V強以下

■耐震化優先度調査総括表

学校名

春松中学校

分類	評価項目	評価ランク
鉄骨軸組筋かい耐震性能	$ISB = \frac{0.25}{C_{yi} \times 1.3} \Big/ \frac{1.0}{A_i F_{esi}} = (0.325)$	B
鉄骨腐食度	$F = 0.5 \times \left(\frac{0.6}{\text{軸組}} + \frac{\quad}{\text{柱脚}} \right) = (0.6)$	B
座屈状況	$N = \frac{1.0}{N_{\text{局部}}} \times \frac{0.8}{N_{\text{全体}}} = (0.8)$	A
溶接状況	$M = (1.0)$	A
構造安全性	(無)	A
落下物等に係る安全性	(無)	A
想定震度	(震度V強以下)	A
優先度指標P	$2 + 5 \times \left(\frac{\quad}{\text{Cランク数}} \right) = 2$	
優先度ランクSp	⑤	

※ のセルに入力

■優先度調査の各項目の概要

a) 鉄骨軸組筋かい耐震性能 ISB

構造計算がない $C_{yi}=0.25$

鉄骨造平屋建 $AiF_{esi}=1.0$

b) 鉄骨腐食度 F

○割れ、ふくれ、はがれ

評点	塗膜の状況
1	表面積の30%以上の異常が認められる
②	表面積の5~30%の "
3	表面積の5%未満の "

○さび

評点	発錆の状況
1	全面に著しいさびが生じ、断面欠損が生じている
2	全面にかなりさびが進行しているか、局部的深い溝食が生じている
3	かなり大きな点さびが点在しているか、小さな点さびが全面にわたって存在している
④	小さい点さびが全面にわたって点在しているか、大きい点さびが少しある
5	発錆は殆ど認められない

○腐食度の区分

発錆の状況	塗膜の状況	腐食度の区分
5	3	無
5	2	仕上げ錆
5	1	部分錆
④	1, ②, 3	
3		1, 2, 3
2		
1	欠損錆	

c) 座屈状況 N

局部座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微ではあるが、フランジまたはトラス(ラチス)の個材にそり曲がりなどの局部座屈の傾向が認められる
明確	明確に座屈していることが認められる
全体座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微な部材中心線の曲がりや梁の横だおれが認められる
明確	明確に座屈していることが認められる

d) 溶接状況 M

異常なし	異常なし
変形	ガセットプレートの変形または溶接ビードの著しく不整形なものが認められる
破損	ガセットプレートや溶接部に亀裂等の欠陥が認められ、著しく耐力が低下している

e) 構造安全性

危険性ナシ

f) 落下物等に係る安全性

危険性ナシ

g) 想定震度

震度V強以下

■耐震化優先度調査総括表

学校名

植別中学校

分類	評価項目	評価ランク
鉄骨軸組筋かい耐震性能	$ISB = \frac{0.25}{C_{yi} \times 1.3} \times \frac{1.0}{A_i F_{esi}} = (0.325)$	B
鉄骨腐食度	$F = 0.5 \times (0.6 + \dots)$ <p style="text-align: center;">f軸組 f柱脚</p>	B
座屈状況	$N = \frac{1.0}{N_{\text{局部}}} \times \frac{1.0}{N_{\text{全体}}} = (1.0)$	A
溶接状況	M = (1.0)	A
構造安全性	(無)	A
落下物等に係る安全性	(無)	A
想定震度	(震度V強以下)	A
優先度指標P	$2 + 5 \times (\dots) = 2$ <p style="text-align: center;">Bランク数 Cランク数</p>	
優先度ランクSp	⑤	

※ のセルに入力

■優先度調査の各項目の概要

a)鉄骨軸組筋かい耐震性能 ISB

構造計算がない $C_{yi}=0.25$

鉄骨造平屋建 $AiF_{esi}=1.0$

b)鉄骨腐食度 F

○割れ、ふくれ、はがれ

評点	塗膜の状況
1	表面積の30%以上の異常が認められる
②	表面積の5~30%の "
3	表面積の5%未満の "

○さび

評点	発錆の状況
1	全面に著しいさびが生じ、断面欠損が生じている
2	全面にかなりさびが進行しているか、局部的深い溝食が生じている
③	かなり大きな点さびが点在しているか、小さな点さびが全面にわたって存在している
4	小さい点さびが全面にわたって点在しているか、大きい点さびが少しある
5	発錆は殆ど認められない

○腐食度の区分

発錆の状況	塗膜の状況	腐食度の区分
5	3	無
5	2	仕上げ錆
5	1	部分錆
4	1, ②, 3	
③		1, 2, 3
2		
1	欠損錆	

c)座屈状況 N

局部座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微ではあるが、フランジまたはトラス(ラチス)の個材にそり曲がりなどの局部座屈の傾向が認められる
明確	明確に座屈していることが認められる
全体座屈	
無	座屈した部分がない
軽微	軽微な部材中心線の曲がりや梁の横だおれが認められる
明確	明確に座屈していることが認められる

d)溶接状況 M

異常なし	異常なし
変形	ガセットプレートの変形または溶接ビードの著しく不整形なものが認められる
破損	ガセットプレートや溶接部に亀裂等の欠陥が認められ、著しく耐力が低下している

e)構造安全性

危険性ナシ

f)落下物等に係る安全性

危険性ナシ

g)想定震度

震度V強以下